

第189回中国理解講座

中国の

くいしんぼう

文学の誘惑

講師：川 浩二 氏
(立命館大学言語教育センター嘱託講師)



10/21^土
14:00-15:30
立命館孔子学院講義室
+ オンラインライブ配信

参加無料
(要事前申込)



中国のお茶とおやつをいただく前に、中国の食いしんぼうたちの文章を読んでみるのはいかが？

瓜子（グアツ）を噛み割りながらお茶をすすする一人の時間、菓子を口にしたときによみがえる幼いころの思い出、毎年繰り返される月をめで月餅を食べる家族のひととき。時代と地域によって口にするものに違いはあれど、食事の合間のお茶とおやつはさまざまな作家と作品によって書かれてきた。

この講座では、お茶やおやつとそれを口にする状況や時間の過ごし方の関係を中心に、近世の文人、近代の作家たちから、現代の飲食散文までを取り上げ、その甘い誘惑に身をゆだねてみたい。

崔岱遠『中国くいしんぼう辞典』（みすず書房、2019年）、焦桐『味の台湾』（みすず書房、2021年）や、周作人、梁実秋、唐魯孫らのよく知られた一篇はもちろん、日本語に未訳の飲食文学の作品を多く取り上げる。

お問い合わせ先

立命館孔子学院（国際平和ミュージアム3階）
603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデメイア立命21内
TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
Mail：koza@st.ritsumeikan.ac.jp HP：https://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/

